

# 鵜沢秀名誉教授記念号の刊行によせて

学長 山 本 眞樹夫

この度、鵜沢秀名誉教授記念号が刊行されるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

鵜沢秀名誉教授は1978年4月本学経済学科専任講師として着任されました。翌1979年10月助教授、1988年10月には教授に昇任。2011年3月退職され、さらに特任教授として本年2013年3月まで本学の教育研究にご尽力を頂きました。特任教授の期間を含めて35年間、本学百余年の歴史の実に3分の1以上の期間を、本学発展のために多大な御貢献を頂きました。

先生は、早稲田大学第一政経学部及び一橋大学大学院経済学研究科で経済学を専攻され、本学着任後も確実にミクロ経済学、産業組織論を中心とした研究を進められました。1992年には米国ロチェスター大学及びコロラド大学ボルダー校へ文部省在外研究員として1年間、引き続き1994年から1年間ロチェスター大学で海外での研究を重ねられ、研究成果は多数の著書、論文に結実しています。

また学部・大学院では産業組織論を中心に講義、ゼミナールをご担当して頂きました。先生の熱心な教育姿勢は誰もが認めるところです。特に、コンピュータを利用した経済学教育に熱心に取り組まれていました。私にとって門外漢で良く分かりませんが、複雑な関数や均衡解をコンピュータ上のグラフィックで可視化し、それらの概念を学生に分かりやすく示す、といったことに取り組まれていたようです。

また、学内行政においては、1994年から1年間、及び2003年から1年間の2度にわたり経済学科長を務められるとともに、その他学内の重要な委員会にお

いて委員長等の重責を担って頂きました。教職員からの信望厚く、先生の温厚な人柄と的確な判断は、本学の発展に大きく寄与するものでした。

残念ながら、教授としては本学を御退任されましたが、今後とも名誉教授として本学へのご指導、ご支援を頂けるよう期待しております。